

トピックス

鉄道総研の職員がUICグローバルリサーチ&イノベーション賞を受賞しました

鉄道総研の職員4名が国際鉄道連合（以下、UIC）のグローバルリサーチ&イノベーション賞（UIC Global Research & Innovation Awards 2016）を受賞しました。

UICのグローバルリサーチ&イノベーション賞は、鉄道輸送を世界レベルで促進するとともに、鉄道をより魅力的かつ経済的で持続可能とするために、UICの国際鉄道研究委員会（以下、IRRB）のイニシアチブによって2012年に創設されました。選考委員会はIRRBのメンバーで構成され、「安全/セキュリティー」、「持続的発展」、「鉄道システム技術」、「鉄道貨物サービス」、「旅客サービス」、「コスト削減」の6分野に加え、30歳以下の若手研究者ならびに長年の功労者に対して表彰されます。授賞式は、2016年12月1日に、ロシア・サンクトペテルブルグのヴィチェブスク駅において行われました。



井澤 淳 山本貴光 菅原能生 渡辺 勉  
4名の受賞者（鉄道総研内で撮影）

【受賞者】

○安全/セキュリティー部門

「長区間の鉄道路線全線を対象とした巨大地震に対する鉄道地震災害シミュレータの開発」

鉄道地震工学研究センター 地震動力学 主任研究員  
井澤 淳

○持続的発展部門

「燃料電池車両の開発」

車両制御技術研究部 研究部長  
山本 貴光

○旅客サービス部門

「車両の上下制振制御に関する研究開発」

車両構造技術研究部 走り装置 主任研究員（上級）  
菅原 能生

○コスト削減部門

「ラダー軌道システムの開発・普及」

鉄道力学研究部 構造力学 副主任研究員  
渡辺 勉